

## 2022年度年末手当交渉

# JR北海道労組 「1.7カ月」妥結！

〔エルダースタッフは0.92カ月〕

JR北海道労組は、本日、1.7カ月(対前年0.03カ月増)で妥結しました。

この間、JR北海道労組は、中央本部総対話行動に参加した組合員の声、交渉期間中に檄布・檄FAX・檄色紙に寄せられた組合員や家族の思いを受けて、鋭意交渉に臨みました。

11月22日、第4回団体交渉において「1.68カ月」を会社は示しましたが、JR北海道労組は「昨年実績を上回った意味では評価するが、組合員・家族のこの間の苦労、我慢、生活実態からすれば到底受け入れられない」として、再考を強く求めています。

24日、第5回団体交渉において、再考に対する回答として「1.7カ月」「エルダースタッフ0.85カ月」が示され、定昇・ベアのないエルダー組合員も物価高騰に苦しんでいるとして、エルダースタッフに対する上積みを求めています。

その結果、本日、第6回団体交渉において、「エルダースタッフについては昨年実績より0.02カ月上積みの「0.92カ月」とすることが示され、組合員・家族の苦労、生活実態を踏まえた回答としては満足できないが、一定の上積みを確認し、苦渋の決断、妥結となりました。

年末手当交渉の成果と教訓を、

2023JR総連春闘へ繋げよう！